Black Duck Hub が「Ready for IBM Security Intelligence」認証を取得

アプリケーションによるセキュリティ管理に対する統合的アプローチを通じた、提携による企業間の OSS ならびにカスタム開発によるソフトウェアの双方におけるセキュリティ・リスクの管理が可能に

（本プレスリリースは 2 月 4 日に配信された英語オリジナル版の日本語概要版です）。

マサチューセッツ州バーリントン – 2016 年 2 月 4 日 – OSS のセキュリティ及び管理の自動化ソリューションの世界的企業である、Black Duck Software, Inc.（以下 Black Duck）は自社のセキュリティ・ソリューションである Black Duck Hub が IBM PartnerWorld の *Ready for IBM Security Intelligence* の認証を取得したことを本日発表しました。この結果、Black Duck Hub は IBM Security AppScan との統合が認められ、世界中の利用者がより一層保護されることとなります。

このテクノロジーの統合により、企業が脆弱性ならびに修復管理機能に関する包括的な情報を提供する IBM Security AppScan 内で、ひと目でカスタム開発ならびにオープンソース・コードのアプリケーション・セキュリティ・リスクを認識及び管理することが可能となります。

Black Duck Hub はアプリケーションとコンテナー内のオープンソースを識別し、棚卸しし、the National Vulnerbility Database（NVD）（脆弱性情報データベース）ならびに VulnDB より得たデータとその資産 を比較することで、既知のセキュリティ脆弱性の位置をマッピングします。また Black Duck Hub は、新たに発見されたオープンソースの脆弱性の継続的な監視も提供します。

International Business Machines Corporation（以下 IBM）の IBM® Security AppScan® Enterprise はアプリケーション・セキュリティ・リスクを軽減し、アプリケーション・セキュリティ・プログラム管理を強化、規制対応を実現します。

世界中の企業が脆弱性から自らのアプリケーションを安全に保とうと奔走しています。その最重要課題の 1 つがオープンソース・コード内のリスクに関わる管理、ならびにその可視性です。何千というオープンソース内の新たな脆弱性が毎年報告されており、98%の企業が自ら認識しているよりも、多いオープンソースをそのアプリケーション内で利用し、それらが Heartbleed、Shellshock、Ghost または Venom といった脆弱性に晒されています。

「OSS が大規模な企業のコード・ベースの 40%から 50%を占めるということはあまり知られていません。Black Duck Hub を IBM Security AppScan に統合することで、IBM 利用者は利用しているオープンソースの可視化ならびにその管理が可能になります。これによりセキュリティ・リスクの理解が進み、それを低減させることが可能になります。」と Black Duck の CEO である、N. Louis Shipley は述べています。

「企業のセキュリティ管理に対する全体論的アプローチの実現に取り組んでいます。」と IBM

のアプリケーション・セキュリティ、プログラムディレクターの Lawrence Gerard 氏は述べています。「Black Duck とのテクノロジーの統合により、私共の共同顧客の皆様がオープンソースならびにカスタム・コード内でセキュリティの脆弱性を認識し、修復することができるようになります。 – すべてが IBM Security AppScan Enterprise を通じています。これにより、アプリケーション・セキュリティ管理の完全で効果的な手法が可能となります。」

Black Duck Hub を使用した場合の IBM Security AppScan 利用者が利用できる主な機能:

- 包括的にオープンソース内を検知:Black Duck® KnowledgeBase™を使用した、オープンソースのライブラリ、バージョン、ライセンスならびにコミュニティ・アクティビティの高速スキャンならびに検知 – 業界最も完全性の高いオープンソース用データベース
- 新たなオープンソース・リスクの評価:既知の脆弱性に対するオープンソース・インベントリの自動マッピング
- 統合修復オーケストレーションならびにポリシー強化:オープンソースの脆弱性修復の優先順位化ならびに軽減ガイド
- 新たなセキュリティの脆弱性の継続的な監視:新たに報告されたオープンソース・セキュリティの脆弱性を継続的に監視ならびにその警告

詳細な情報:

1. 米国東海岸時間 2016 年 2 月 18 日の Black Duck ならびに IBM が共同で開催するウェビナーにご参加ください(言語:英語): http://info.blackducksoftware.com/ibm-webinar-Feb18.html
2. 統合アプリケーション・セキュリティに必要な事項に関し IBM ならびに Black Duck が共同で作成した Security Intelligence に関するブログをご参照ください(英語版のみ): https://securityintelligence.com/custom-and-open-source-code-a-new-approach-to-application-security-management
3. blackducksoftware.com/ibm または http://ibm.com/partnerworld/gsd/solutiondetails.do?solution=52753 でデモ動画をご覧になるか要望をお寄せください
4. さらに詳細な説明、デモまたは無料の試用版に関するお問い合わせは、ibm@blackducksoftware.com までお願いします

Ready for IBM Security Intelligence アライアンスは、セキュリティのカバー範囲を拡大ならびに改善し、情報のサイロ化を解決、状況の理解及び洞察を良化させることを目的として、テクノロジーの連携及び統合を推進するため設立されました。PartnerWorld プログラムと Ready for Security Intelligence 認証により、IBM はそのビジネス・パートナーと連携して製品性能の統合ならびに共同顧客向けの改善されたセキュリティ機能を実現します。

英語版オリジナルプレスリリース

Black Duck Softwareについて

Black Duck Softwareは、あらゆる規模の企業がオープンソースコードをセキュアに管理し、オープンソースを利用して管理することで得られるビジネスチャンスを最大化することを可能にするOSS Logistics ソリューションのリーディング・プロバイダーです。Black Duckはマサチューセッツ州バーリントンに本社を置きカリフォルニア州マウンテンビュー、ロンドン、パリ、フランクフルト、東京、ソウル、北京に事務所があります。詳細については、www.blackducksoftware.com をご覧ください。
ブラック・ダック・ソフトウェア株式会社（本社：東京都千代田区）は、Black Duckの日本法人です。

本件の問い合わせ先

ブラック・ダック・ソフトウェア株式会社
マーケティング 武藤
TEL: 03-3288-2420
FAX: 03-3288-2375
Email: marketing-jp@blackducksoftware.com